

各 位

会社名 : 新報国製鉄株式会社
代表者名 : 代表取締役社長 成瀬 正
(コード番号 5542 ジャスダック)
問合せ先 : 常務取締役 森 善男
TEL : 049-242-1950

中期経営計画に関するお知らせ

当社グループでは、この度平成 22 年 12 月期から平成 24 年 12 月期までの 3 年間を実行期間とする中期経営計画を策定しましたのでその概要をお知らせします。

記

1. 中期経営計画策定の背景

(1) 構造改革の進捗

サブプライム問題を震源とした金融不安による急激且つ著しい景気後退による当社グループの極めて厳しい経営環境を踏まえて、高収益体質及び市場競争力強化の実現のため、平成 21 年 8 月 10 日に発表しました以下を骨子とする「構造改革」の取り組みを実行してまいりました。

① 生産集約

当社鋳鋼工場を閉鎖し、三重県にある子会社(山本重工業(株))に生産集約する。

この集約された生産設備の生産能力は、当社・子会社でのピーク生産量である前々年程度として計画することについては、本年 1 月に各種設備の移設が完了し 2 月度より本格稼働が可能となりました。

② 当社グループ 100 名体制への転換

生産効率の向上併せて要員適正化のため、「希望退職者募集」「鋳鋼工場閉鎖による解雇」を行い、当社グループ要員 171 名を 100 名体制への転換を図ることについては、昨年末に 100 名体制への転換が実現され抜本的固定費削減が可能となりました。

③ 敷地の有効利用

営業及び品質保証を含む本社機能・研究設備・鍛造品作業所等(約 10,000 m²)以外、残りの当社敷地(約 29,000 m²)の有効利用を図ることについては、賃貸・売却・賃貸売却併用等各種方法により敷地収益性が高まるように専門業者を起用し、出来上がった計画を検討し決定することとしています。

この「構造改革」の取り組みにより企業基盤の再構築が整った中、当社グループを新たな戦略的成長軌道にのせるため中期経営計画を策定しました。

(2) 中期経営計画の目標

中期経営計画期間の当社グループの見通しといたしましては、現状液晶^パネル製造装置業界、半導体製造装置業界よりの受注回復、鉄鋼関連よりの受注も通年並の回復が見込まれ、平成22年12月期は別掲の通りグループ全体で売上高27億円、営業利益0円、経常利益25百万円の黒字転換確保し、平成24年12月期では液晶^パネル製造装置、半導体製造装置の本格的回復シリコンウエファ業界の受注回復併せて新規分野の拡販活動の推進によりグループ全体で売上高45億円、営業利益8億円を、又財務体質健全化のため、平成21年12月期2.1程度にまで悪化した「ネットD/Eレシオ」を平成24年12月期には1以下とします。

2. 中期経営方針

当社グループは、この見通しを踏まえて「中期経営計画期間」を「反転攻勢」の時期と位置付け、高品質製品供給の徹底、半導体他装置関連への比重の偏り無い新規拡販活動の推進、収益改善・財務体質の強化を図り、半導体他装置関連の市況動向に左右されない持続成長可能な経営基盤を築きます。

“中期経営スローガン”

「チェンジ」「チャレンジ」「エキサイティング」

3. 重点戦略

(1) 製造

- ① 製造現場と設計・技術部門のコラボレーションによる高品質製品供給の徹底
- ② 無駄の排除等適正リードタイムの検証による納期短縮の向上
- ③ 不良0運動推進によるコスト低減
- ④ 高付加価値拡充のため外注先を含めた機械加工体制の構築
- ⑤ 遠心鑄造・生型造型等移設設備による生産ニーズ拡充対応

(2) 営業

- ① 半導体他装置関連への比重の偏り無い新規拡販活動(ポンプ^パ業界・バイオマス発電業界・燃焼機器業界・太陽電池業界・LED用研磨定盤等)の推進
- ② お客様の要望に迅速に応えられる営業体制の強化
- ③ お客様への訪問活動の拡充及び営業戦略立案能力向上
- ④ 製品在庫量適正化の徹底

(3) 研究開発

- ① 外部研究機関との連携等による研究部門の強化
- ② お客様の要望に応える材料開発・製品開発の迅速化
- ③ 既存製品のさらなる高度化とオンリーワンとなる新製品の開発

(4) 人材育成

- ① 若年社員育成のためOJTによるスキルの向上

② 管理者層、次世代管理者層の戦略的育成の実施

③ 次世代社員の獲得と育成並びに高齢者の活用

(5)内部統制水準の一層なる向上

① リスクマネジメント水準の一層の充実

② 当社グループのコンプライアンスの徹底

③ 内部統制システムの恒常的見直しの実施

4. 中期経営計画の数値目標

3カ年計画中期経営計画（連結）

（単位：百万円）

	平成 21 年度 実績	平成 22 年度 計画	平成 23 年度 計画	平成 24 年度 計画
売上高	1,835	2,700	3,500	4,500
営業利益	△1,138	0	400	800
経常利益	△1,081	25	425	825
当期純利益	△1,190	25	425	825

(注)1. 本中期経営計画は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであります。実際の業績等は今後の様々な要因により、計画数値と異なる可能性があります。

2. 上表の△は損失を表しております。

以 上